

# 研究 Report

No. 3 令和2年11月 池袋本町小学校

今回の研究 Report では、第3回目の4年1組の研究授業の様子をお知らせします。今回の校内研究は、情報モラル教育を通して総合的な学習の時間や道徳科の教科横断的な視点からアプローチをした授業です。「身の回りの危険や安全」について考え、その後、実際に校舎内を調べ、他者に伝えることを通して情報を整理・分析し、表現することをねらいとしています。単元の最後では自分自身の意見や考えをグループでまとめ、探究的な学習を味わえるように指導を展開していきます。

## 【本時の目標】

まとめたことを伝える時に気を付けることを考え、情報発信者としての責任があることを理解する。

## 【主な学習活動】

### (1) 導入

校内の危険な場所についてまとめたことを動画で下学年に伝える計画を振り返りました。



### (2) 展開

まとめたことを伝える時に気を付けることを、「伝え方」と「伝える内容」(情報モラル)の二つの観点から考えました。

### (3) まとめ①

一人一人が考えた後、グループで話し合い、さらに考えを深めました。「正しい内容であるか」「写真に写っている人に許可をとったか」「最新の内容になっているか」「人が嫌がる内容になっていないか」などの意見が出ました。



### (4) まとめ②

それぞれのグループから出た考えをまとめることを通して、情報を発信するときには、気を付けることがたくさんあり、「情報の発信者としての責任」があるということを理解しました。